

徳島・ギャンブル問題を考える 第10回市民公開講座

第一部

「ギャンブル脳と家族のトラウマ」

講師: 帚木蓬生 (ははきぎ ほうせい)



わが国で最も早くからギャンブル依存症の治療を始めた精神科医。作家としても有名。

経歴

1947年、福岡県生まれ。医学博士。精神科医。東京大学文学部仏文科卒業後、TBSに勤務。2年で退職し、九州大学医学部に学ぶ。93年に『三たびの海峡』で吉川英治文学新人賞、95年に『閉鎖病棟』で山本周五郎賞、97年に『逃亡』で柴田錬三郎賞、2010年に『水神』で新田次郎文学賞、11年に『ソルハ』で小学館児童出版文化賞、12年に『蠅の帝国』『螢の航跡』の「軍医たちの黙示録」二部作で日本医療小説大賞、13年に『日御子』で歴史時代作家クラブ賞作品賞、18年に『守教』で吉川英治文学賞および中山義秀文学賞を受賞。著書に、「香子(一)(二)」「国銅」「風花病棟」「天に星 地に花」「受難」「悲素」「襲来」「沙林」「花散る里の病棟」等の小説のほか、新書、選書、児童書などにも多くの著作がある。

第二部

当事者の話

家族の話

専門医の話 「ギャンブル依存症の家族支援」

吉田精次(藍里病院依存症研究所所長)

定員170名
< 先着順 >

2025年5月18日(日)

13:00 ~ 16:00 (開場12:30)

事前申込必要
参加費無料

会場

徳島県医師会館

徳島県徳島市幸町3丁目77番地

※会館にも駐車場はありますが、当日は他にも行事があり満車になることが予想されています。その場合は近隣の駐車場(有料)をご利用ください。



お申し込みは
QRコードから

申込受付期間

3/1~4/30

電話でのお申し込み・お問い合わせ
088-694-5151(藤原・坂東)